

高病原性鳥インフルエンザ発生時における家畜防疫員の作業指揮等を中心とした実践的防疫演習

中丹家畜保健衛生所

○大谷健太 黒田鼓 稲元哲朗 種子田功

【はじめに】迅速かつ的確な初動防疫対応のために現地对策本部が設置される振興局と連携し、大規模養鶏場において家畜防疫員の防疫作業指揮訓練を中心とした実践的な防疫演習を実施した。【方法】採卵鶏 15 万羽飼養農場での発生を想定し振興局職員等 59 名と家畜防疫員 18 名が参加する、現地对策基地の設置及び農場での防疫作業演習を実施。農場では初動防疫から供試鶏約 600 羽の殺処分完了までの作業を、防疫作業未経験者に対し、家畜防疫員が作業班長として指揮した。演習後全作業員、班長及び評価者からのアンケートを基に、各作業の効率や安全性等を検証した。【結果】班長が各作業前の説明と動線等に関する指示を的確にすることで、作業員の 82% が作業内容を理解し、スムーズに行えた。防疫作業に自信がついたとの意見が多数を占め、今後の演習参加にも意欲的であった。評価者からは安全を優先し、作業停滞時にも適切に対応できたとの高い評価を得た。一方、専門用語は作業員が内容を理解しにくい可能性も指摘された。【まとめ】演習により家畜防疫員がスキルアップするとともに、防疫作業未経験者へのより丁寧な説明と安全性への配慮等の必要性を確認できた。このような演習を継続し検証を重ねることで、さらに的確な指揮をし、安全かつ迅速な防疫措置を行える体制を構築する。